

# 令和5（2023）年度 学校と地域の連携推進セミナー③ 実施報告

実施日：令和5年9月26日（火）

当セミナーは、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」のそれぞれの視点から、学校と地域が連携・協働した活動に携わる際に必要な知識や技術の習得を目指すことをねらいとしています。

第3回は学校の教育活動を地域づくりにつなげていくための知識・技術を得ることを目的として実施し、行政関係者や教職員、地域コーディネーター等22名の方が参加しました。

## ○ 講話「学校を核とした地域づくりのススメ」

宮城県利府町文化センター「リフノス」センター長 野澤 令照 氏

野澤先生は、長年宮城県の小学校で教鞭を執り、その後は仙台市教育委員会へ異動、仙台市教育委員会教育次長、仙台市立小学校校長会会長を務めました。定年退職後は宮城教育大学でも教鞭を執りました。

在職中、宮城県社会教育委員の会並びに生涯学習審議会の議長及び委員長を務めるなど、生涯学習・社会教育への知見が豊富にあります。また、文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）を務めているなど、学校と地域の連携・協働の推進などにも造詣が深い先生です。

今回は、野澤先生から地域の力が学校を支えること、学校と地域の連携・協働を推進することの意義、全国の優良事例について話がありました。野澤先生が取り組んだ調査結果に関する説明や学校と地域の連携・協働を成功させる鍵やヒントにも話がおよび、野澤先生自身の経験も踏まえた内容に受講者は関心を持って聴いていました。また、「いい地域にはいい学校がある。そして、いい学校はいい地域をつくる。」という野澤先生の言葉に感銘を受けた受講者は、グループ協議をとおして今後の活動につなげるために意識を高め合いました。



## ☆受講者の声（アンケートから）

- ・野澤先生の印象深い言葉が心に残りました。私の今までの取組を振り返り、日頃からお互いの顔が見える関係をつくるのが大切だと、改めて思いました。
- ・学校の教育活動を地域活動につなげていく意識を持つことの大切さを学びました。
- ・たくさんの具体的事例の中から多くのヒントを得ることができました。学校と地域の連携・協働活動が児童・生徒や地域にとってより良いものになることを理解しました。
- ・これから頑張っていこうと「やる気と元気」をもらうことができた講話でした。
- ・今後は小・中学校と高等学校の連携を進めるために必要なことを学びたいと思いました。
- ・多くの先生方に「学校を核とした地域づくり」の本質を理解してもらえよう、今後も活動を続けようと思いました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

